

6. 公 害

(1) 現象別苦情受付状況

単位:件

年 度	総 数	大 気 汚 染	水 質 汚 濁	土 壌 汚 染	騒 音 振 動	地 盤 沈 下	悪 臭	そ の 他	
平成 29 年度	79	11	3	—	10	1	—	16	38
30	78	10	5	—	17	1	—	15	30
31	62	11	5	—	8	2	—	12	24
令和 2 年度	70	15	2	—	20	2	—	22	9
3	95	9	8	—	24	3	—	18	33

資料：環境対策課

注：2つ以上の現象に該当するものがあるため、発生源別苦情受付件数と現象別苦情受付件数は一致しない。

(2) 発生源別苦情受付状況

単位:件

年 度	総 数	工 場	指 作 業 定 場	建 設 業	そ の 他				
					総 数	自 動 車 機	商 飲 食 店	そ の 他 の 事 業 場	一 般 家 庭 所 の 他
平成 29 年度	65	—	2	4	59	1	2	2	54
30	68	5	4	5	54	1	6	3	44
31	50	1	3	2	44	—	3	5	36
令和 2 年度	55	—	—	7	48	—	7	—	41
3	85	1	4	3	77	—	6	4	67

資料：環境対策課

(3) 河川別水質分析の推移

年 度	前 川							
	上 流				下 流			
	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 BOD(mg/l)	溶存酸素 DO(mg/l)	浮遊物質 SS(mg/l)	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 BOD(mg/l)	溶存酸素 DO(mg/l)	浮遊物質 SS(mg/l)
平成 29 年度	7.1	1.6	9.2	1	7.7	1.2	11.8	3
30	7.1	1.9	9.3	1	7.5	1.3	11.0	4
31	6.9	1.5	8.8	2	7.1	1.2	9.8	1.5
令和 2 年度	7.4	1.4	9.3	3	7.7	4.5	11.0	22.7
3	7.0	2.6	8.9	2	7.5	1.4	10.8	1.3

年 度	奈 良 橋 川							
	上 流				下 流			
	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 BOD(mg/l)	溶存酸素 DO(mg/l)	浮遊物質 SS(mg/l)	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 BOD(mg/l)	溶存酸素 DO(mg/l)	浮遊物質 SS(mg/l)
平成 29 年度	7.5	1.0	10.1	3	7.9	0.8	11.4	1
30	7.6	4.5	9.8	6	9.1	1.2	12.1	<1
31	7.4	5.2	9.6	6	8.2	0.7	10.5	5.3
令和 2 年度	7.9	1.5	10.1	5	8.5	2.2	11.0	3
3	7.5	1.1	10.2	2	7.7	2.1	11.0	5

年 度	空 堀 川							
	中 流				下 流			
	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 BOD(mg/l)	溶存酸素 DO(mg/l)	浮遊物質 SS(mg/l)	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 BOD(mg/l)	溶存酸素 DO(mg/l)	浮遊物質 SS(mg/l)
平成 29 年度	8.2	1.8	10.3	6.5	8.3	1.3	11.1	3.3
30	8.7	2.2	11.1	5	8.5	1.8	11.0	5.3
31	8.2	1.9	10.3	3.3	7.7	1.3	10.4	1.8
令和 2 年度	8.6	1.7	10.7	4.8	8.5	1.5	11.0	9.3
3	8.1	2.2	9.2	7.3	8.1	2.4	10.1	6.5

資料：環境対策課

注：数字は年平均値

(4) 大気汚染測定状況

年 度	二酸化窒素 NO ₂ (ppm)	浮遊粒子状物質 SPM (mg/m ³)	オキシダント Ox (ppm)	微小粒子状物質 PM2.5 (μg/m ³)
平成 28 年度	0.011	0.017	0.034	12.4
29	0.013	0.017	0.034	12.5
30	0.011	0.018	0.035	10.6
31	0.010	0.015	0.035	10.1
令和 2 年度	0.010	0.015	0.034	9.1

資料：東京都大気汚染常時測定局(市立一小南)データ 環境対策課

注：数字は時間値の年平均値

注：平成30年度より微小粒子状物質(PM2.5)を記載。